

# セ ボ ス

クガヤ

ランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2020.11 No.199

今月のピックアップ

特集●

## コロナ禍・それぞれの選択 ～地域活動団体アンケートから～

まちの市民力! ● 雑居まつり実行委員会

キラリ世田谷人 ● 高田 敏江さん



イラストレーション●平岡淳子 詩人  
詩を書いたり、水彩画を描いたり、  
お散歩したり、写真を撮ったり  
毎日たのしく暮らしています。

### ●わたしの世田谷

成城学園前「カフェギャラリー  
クオパディス」のギャラリーの企画  
をしています。どうぞあそびに  
いらしてくださいね。

## ●特集

# コロナ禍・それぞれの選択 ～地域活動団体アンケートから～

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言から早半年。地域で行われている活動もさまざまな影響を受けました。NPO・市民活動相談の窓口へ寄せられる相談も増えています。

そこで、今回は各団体がどのような工夫をして、「いまでできること」に取り組んできたのか、本誌セボネの取材でお世話になった団体にアンケートを行いました。それぞれに悩みながら、今は活動を控える団体、新たな形を模索する団体、各々の様子がうかがえました。活動のヒントをお届けできたらと思います。

## ①：コロナによってどんな影響を受け、 どんなことに困りましたか？

- 活動場所として使っていた会場が使用できなくなり、数カ月わたって活動を休止せざるをえなくなった。
- 活動場所がないため、会員間のコミュニケーションが取りづらくなり、活動への意欲消滅が懸念された。
- コミュニティカフェの休業、利用者（特に子育て層）の激減、イベントの休止やスタッフの安全確保、衛生対策への支出増など。
- 高齢者がコロナに感染すると重症化すると言われていたので、(子ども食堂の)スタッフが現在は半分になってしまった。
- すべてのイベントが中止になった。直接顔を合わせることを大事に考え活動してきたので、集う機会がなくなったことは痛手です。せっかくつながったボランティアさんとも切れてしまいました。

## ②：活動するうえで悩んでいること

- 活動が対面式とオンラインに分かれてしまうので、**団体としての一体感**をどうとったらよいかを心配しています。
- 感染に関しては個々の意識の違いがあるので、**話し合いが大事**だと思います。
- 助成金以外の**資金の確保**。**人の確保**。
- 人数をわけて1日に2回行うために会場を2コマ確保することが必要で、抽選に漏れると他を探さなくてはならない。広い場所が借りられれば新規募集をしたいが、他団体はどのようにしているのでしょうか？
- 参加者の数を減らしているため、運営資金を集めるのに苦労しています。他団体の解決策を知りたいです。

### ③：コロナ禍で工夫して取り組んだこと

●休止中に「**せたがやくらぶだより**」を作り、季節の歌や自宅のできる健康のための体操、季節の話題などを掲載して郵送しました。

●施設入居している高齢のご家族と連絡が取れず不安を抱えた方のケースでは、高齢者に馴染みのある「**文通**」をお勧めしました。家族の写真やお孫さんの描いた絵などの送付も入居されている方の励みになったようです。



●赤ちゃんや幼児向けのリトミックを、**定員を設け2部制**にして感染予防を徹底させて再開しています。それ以外の会合はほとんどがオンラインになりました。

●安全を守りながら、できることを丁寧に少しずつ、**一歩ずつ**できることを増やしていきました。6月から参加者を**少人数**に絞ったイベントに**オンライン参加を組み合わせる**などして開始しました。



●「子ども食堂」として会食はできませんでしたが、**お弁当、食材の配食**をしています。



●コロナに負けずに、8月に講演会を開催しました。区のガイドラインに加え、動線等も見直し、検温の方法、体温計の種類、アルコール消毒液のアルコールの度数、机の拭き方、講師の前にビニールの飛沫シートを設置するなど**対策を徹底**しました。



●開催予定だった「実家のお宝放出フリーマーケット」は、オンラインでのアンティーク食器オークションに変更して実施しました。

その後はコミュニティカフェに**無人**の常設リサイクルコーナーを設置して対応。実物を確かめられるよう**透明な仕切り越し**の棚に陳列。引き取り希望の方はスタッフに申し出る**非接触スタイル**としています。

●Zoom会議と、Zoomでの**オンライン講習**をしました。

●オンラインツールの活用や**分散型**のイベントを9月に立ち上げました。



## ④：各団体が受けとめた地域の声・つぶやき

●活動開始後に、「待っていました！」とお声掛けをいただきました。

●「どこも出かけられなくて鬱になった」「お手紙をいただきうれしかった」「家にいて誰とも話をしないと声が出にくくなる」「家族が出かけるのを嫌がり、止められている」など。再開して参加者同士が久しぶりに会い、おしゃべりに花が咲いていました。

●学校休校中にお弁当を配食した際、ひとり親の方が「人と会えて嬉しい」と涙を浮かべてお弁当を受け取っていた。学校給食を楽しみにしていた子が手作りお弁当を食べて、すぐ戻ってきて「今までで一番美味しかった」と言って、帰って行った。

●（障害のある）子どもがマスク着用を嫌がったりソーシャルディスタンスの取り方が難しかったり等、障害特性ゆえの困りごとの声がある。また実際に新型コロナにかかったらどうなるのかという不安の声が根強い。

●このような状況下でもダウン症の赤ちゃんは生まれます。しかし親御さんは動きにくく、会としてもお会いしましょうと言い出し難く…。

●高齢者施設では外部からの訪問が制限され、外出やイベントの機会も減った。いつもの生活パターンが維持できなくなり、生活の質が低下。特に認知症の方の症状の進行は顕著で、家族の顔をすっかり忘れてしまった、感情の起伏が激しくなった、歩行がおぼつかなくなったなどの報告をご家族から受けた。

## ⑤：今後やろうと思っていること

●場所の確保ができ次第、今まで通りの活動をしていきたいと思います。

●オンラインサークルと並行して、10月から対面式の活動を再開する予定です。コロナの受け止め方は人によって異なり、**多様なチャンネル**を用意したいと思います。

●今ある安全に配慮した運営をしっかり続けながら、**地に足をつけた場づくり**を続けていきたいと思っています。

●色々なものが緩和されましたがコロナを取り巻く状況は改善されておらず、今年度はこの体制で行くことになるでしょう。

●新しい生活様式に沿って、十分な距離を確保できる定員で、会場の換気や衛生管理などにも留意して、**対面ならではの**本音が語れる勉強会を実施していくつもりです。また、会場参加を控えたい方のためにオンライン配信勉強会の開催を検討中です。

●オンラインで配信できるように障害の理解啓発のための短い映像（動画）をいくつか作成したいと思っている。

●基本のコミュニケーションはオンラインを軸として据えつつも、**リアルとの融合**を図っていきたいと思います。



# オンラインに挑戦したい方のために

オンライン会議ツールにはいろいろありますが、よく使われている「Zoom（ズーム）」をご紹介します。パソコンやスマホなどの機器があれば、いつでもどこでもウェブ上で会議ができます。「聞いたことはあるけど使ったことがない」「試しにやってみたいと思っている」、地域活動をする方のための参考になればと思い、お伝えします。

## オンライン会議に必要なもの

- \* パソコン（タブレットやスマホでも参加可能。カメラが付いてないパソコンの場合は、別途ウェブカメラが必要）
- \* Wi-Fi 環境（インターネット環境）  
動画視聴と同じくらいの通信容量が必要。スマホの容量制限がある方はご注意ください！
- \* まわりの環境によってはイヤホンやヘッドセットがあると、より快適です。

## 費用はかかるの？

- \* Zoom の場合、誰でも無料版を使うことができます。1 回 40 分の時間制限がありますが、インターネット接続以外の費用はかかりません。（有料版は時間無制限で使用できます）
- \* Zoom のほかに、LINE（ライン）のビデオ通話機能でも画面越しで顔を見ながら話ができます。

## オンライン会議って何ができるの？

- \* 離れた場所にいる人とも、画面上で顔をみながら話をするができます。
- \* 同じ資料（データ）を画面で共有することができます。
- \* 「チャット」を使って文字を書き込み、リアルタイムで共有できます。

## こんな機能が便利！

- \* Zoom の「ブレイクアウトルーム」という機能を使うと、小部屋（セッション）に分かれてグループごとに話ができます。



※詳しくは「Zoom」「オンライン会議」で検索

## 新たなツールの活用

オンラインを活用した団体も多く、アンケートからは様々な発見や気づきも伝わってきました。

●「オンラインサークルに参加する方の中には、乳児を抱えていて外出しにくい方、持病があるためオンラインならば感染の危険がないという方、母国に帰ったまま日本に戻って来られない方などがいまして、オンラインならではのさまざまなニーズがあることは意外でした」

●「オンラインで参加するのが難しい方には丁寧な個別サポートをしました。新たな手段を得たことで、その人の世界が広がりました。オンラインが苦手な方のために、今後もサポートを続けていきたいと思っています」

新たなツールを上手に活用しつつ、直接顔を合わせて話せることも今まで以上に大切に感じています。（まとめ／事務局 宮崎）

地域の問題は地域住民の手で

## 雑居まつり 実行委員会



# まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



「雑居まつり」とは毎年秋に羽根木公園で開催される草の根のお祭りです。「地域の問題は地域住民の手で」を合言葉に、多様な地域課題を取り上げて活動している団体・個人の自発的参加によって運営されています。1976年に始まり、今年で45回目の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。実行委員会事務局の橘さんと野澤さんにお話をうかがいました。

そもそも実行委員会が開けなかったことが大きな要因となり、5月には中止を決定しました。雑居まつりは市民運動のひとつの形であり、当日のお祭りに至るまで

の実行委員会での話し合いのプロセスを大事にしています。「やろうと思えばできたけど、話し合いができないのであれば開催する意味がない」と二人は言います。

今年度は、代わりに「記念誌」を発行しようとしています。今の雑居まつりができるまでの過去の様々な経緯を知っている人がほとんどいないという課題がありました。そこで、45回という節目に、これまで関わってきた人たちに話を聞き、後の人たちに伝えたいこと、そして今の参加団体が考えていることも合わせてまとめたことを考えています。

これまでの参加団体・個人に呼

びかけたところ、約80団体・個人からメッセージが集まりました。「いろいろな人が集まって自由にワイワイ楽しんでいる雰囲気が好き」「今年も会えたね、と言い合えることが生きる力になっている」「障がいのある人とのコミュニケーションを通して、会話は『声以外の方法もある』と知ってもらえる場になっている」「プレーパークの山車や羽根ロックを毎年楽しみにしてくれている方がいて、地域に支えられていることを実感」

来年はこれまで通りに開催しようとお二人は考えています。1年間が空くことにより、良くも悪くも慣習的になってきたプロセスを見直すきっかけにもなりそうです。一般のお祭りとは違う雑居まつりの理念や話し合いのプロセスなど、これまで大切にしてきたところを受け継ぎつつ、参加団体が当事者意識を持って新しさを出していけるか。ぜひ来年は盛大に開催されることを期待しています。



お話をうかがった  
高田 敏江さん  
たかだ としえ

# や せた人が キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵なたを  
ご紹介します  
取材●星野 弥生

り継いでいくための  
試金石になるの  
では」。そう思っ  
て、コロナ禍にも  
かかわらず「今行  
かなければ後はな  
い」と、渡辺美佐  
子さん、長内美那  
子さん（平均年齢84歳！）ととも  
に、長崎に向かいました。

ヒロシマ・ナガサキを多くの人  
に伝えたいと、高田敏江さんをは  
じめ、18人の女優たちが原爆朗読  
劇『夏の雲は忘れない』を全国で  
公演する「平和活動」について、  
以前本誌で紹介しました。80歳を  
超えた女優たちが交渉からチケッ  
ト売りまですべてをやる「営業活  
動」も限界に達し、会は昨年解散。  
解散前に多くのオフアークが全国か  
らあり、収益を寄附するために長  
崎市長に会った際に、長崎でやっ  
てほしかった、と言われました。  
「まさか実現するとは思ってい  
なかつたんですが、新しい台本で  
は長崎の場面を多くし、子どもた  
ちをメインにしたら、若い人に語

館です。稽古も東京で一回、現地  
で子どもたちと一回のみ。朗読を  
共にする子どもたちを公募。7人  
がオーディションを受け、全員合  
格にしたのはみんなが語り継いで  
ほしいと願ったからです。「水！  
水！」と弟が訴える場面があるの  
ですが、欲しいのはただの水じゃ  
ない。想像してみても、と指導する  
と、気持ちがいもこもり、違ってくる  
んです」。朗読の経験を通じて、「自  
分たちが受け継いで伝えていかな  
くては」と言う子どももいました。  
「子どもたちが本当によかつたん

ですよ。地元の子が訛りでしゃべ  
るのは胸に響きます。涙が出てく  
るのに、フェイスシールドをして  
いるから拭けないの」と敏江さん。  
今回の公演には長崎の被爆体験  
を綴った詩が加わりました。当時  
17歳、原爆で家族全員を失い、女  
子挺身隊で働いていた山口カズ子  
さんの『無題』です。

「人は忘れやすく弱いものだから、  
あやまちを繰り返す。だけど…、  
このことだけは忘れてはならな  
い。このことだけは繰り返しては  
ならない。どんなことがあっても  
…」と訴える詩を、「ズシーンと  
胸に響きました。神戸、福島…大  
変な思いをして故郷を失った人た  
ちが忘れられているのだから、大  
丈夫、なんて言うてほしくないで  
すよ」と敏江さんは受け止めます。  
二泊三日の「疲れ切った」旅でし  
たが、「行つて、よかつた！」こ  
れからは、若い人たちと組んで、  
次の世代にバトンをつなげたいと  
願います。

## ご相談ください

### 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではあります。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる

のかわからないという方は、お電話でご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター  
TEL 5712・5101

## おたがいさま

### 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアさんをお探しして紹介しています。

現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの学習支援にも取り組んでいます。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・青木  
TEL 5712・5101  
takai@otagaisama.or.jp

## ボランティア求む

### 東 綿の布を集めています

玉川福祉作業所は知的に障害のある方の就労通所施設です。自主生産品として裂き織りのマット・コースターなどをつくっています。が、現在、材料となる布が不足しています。綿100%の平織のさけやすい布地や浴衣地などを集めています。多彩な明るい色を希望しています。ご協力お願いします。詳細はお問合せください。

●日時／随時募集しています。月曜から金曜、10時～17時の間

●場所／玉川福祉作業所 (世田谷区玉川1-7-2)  
●交通／二子玉川駅徒歩5分  
●条件／布(綿100%のもの。洋服のままでOKです。Tシャツやスウェットなど伸び縮みするものは使えません)  
●持ち込み方法／事前に電話連絡の上、直接ご持参ください。  
●問合せ／玉川福祉作業所 担当 橋本  
TEL 3707・0498

### 点字学習のサポートをしてくださる方募集

砧地域にお住まいで目の不自由な50代男性が、点字で文章を書く練習を手伝ってくれる方を探しています。練習に使う短い文章(新聞記事や俳句など)を本人へお伝えし、点字を打った後に一緒に答え合わせをする、1時間程度の活動です。ボランティアの方に点字の知識は必要ありません。男性のペースに合わせてゆっくりと待つことができます。お待ちしています。

●日時／土曜または日曜日。10～11時、または14～17時のうち1時間程度。月1回から  
●場所／グループホーム内  
●交通／祖師ヶ谷大蔵駅徒歩10分  
●条件／交通費要相談  
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー 担当 石川  
TEL 3420・2520  
umebona@otagaisama.or.jp



## 日本語を教えて下さるボランティア募集

「JCA千歳船橋」木曜昼教室では、世田谷在住の外国人と日本語学習を一緒にできる会員（ボランティア）を募集しています。年齢・性別、日本語の指導経験の有無は問いません。

●日時／毎週木曜日14時～15時半  
●場所／代田ボランティアビュー  
ロ1（2階会議室）



## 「かがやく目」の活動を 引きついでくださる方を探しています

2000年10月に、区立桜丘中学校の同窓会のメンバーが中心になり、昆虫採取などの自然体験、ペーゴマなどの昔遊び体験を経営エリアの子どもたちを中心に長く活動してきました。小学校への出前授業、地域の祭りへの出店、公園での花壇づくりなどを事業としてきました。

メンバーの高齢化により、人数の減少など、活動の継続が難しくなっています。地域との関係、機材など、長年の活動で積み重ね

●交通／世田谷代田駅すぐ  
●条件／年会費1000円  
●問合せ／JCA千歳船橋  
木曜昼教室 担当 前田  
090-7762-2150  
hadam@com.home.ne.jp

てきたものがあります。その関係を引きついで、引き続き地域で活動を続けてくれる人（グループ）を探しています。関心のある方はお気軽にお問い合わせください。ご応募お待ちしております。

●問合せ／かがやく目  
担当 田中

TEL 3429-4884  
tanakay@staroon.ne.jp  
<http://kagayakume.web.fc2.com/>

## 有償スタツフ募集

### 東 多聞小学校で児童の見守りをして下さる方

多聞小学校に通う児童が、勉強や学校は好きですが、集団の活動が苦手で、一緒にそばで過ごしてくれる方を必要としています。授業に参加できないときは、優しく声掛けをして寄り添ってもらえると、気持ちの整理をして教室に戻ることができます。明るくて、大人とのかかわりが好きなお子さんです。詳しくはお問合せください。

●日時／月々金曜の8時半から15時半までの3～7時間。  
週1回から可

### 東 身体に麻痺がある 男性の介助をして下さるヘルパーを探します

私は現在43歳（男性）です。25年前に交通事故に遭い、高次脳機能障害があり、身体と言語に麻痺があります。毎週月曜日の18～20時に食事と着替えの介助をお願いしたいです。話すことがむずかしいですが、タイピングとボイスチェンジャーで会話ができます。ヘルパー事業所と契約をしていただ

●場所／多聞小学校

●交通／三軒茶屋駅または池の上駅徒歩15分

●条件／高校生不可。謝礼あり（1時間1170円）。交通費別途支給（上限1000円）

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居

TEL 5712-5101  
takai@otagaisama.or.jp

きますので、有資格者の方をお願いします。

●日時／毎週月曜日の18～20時

●場所／自宅（世田谷区野沢）

●交通／三軒茶屋駅徒歩20分

●条件／男女不問  
●問合せ／黒田（本人）  
kuro-chan.0203@ezweb.ne.jp

# 講座・その他・募集

## 東 せたがやチャイルドライン オンライン公開講座

この講座は「せたがやチャイルドライン第25期受け手養成講座」の一部ですが、どなたでもご参加いただけます。

②11月21日(土) 15時〜17時  
講義「いじめと不登校経験者の立場から」  
須永祐慈氏(NPO法人ストッブいじめ!ナビ副代表理事)  
●開催方法/WEB会議ツール「Zoom」を使用して実施

11月は思春期の性や、いじめ、不登校がテーマです。なかなか聞くことができないテーマですので、この機会にぜひご参加ください。詳細はホームページをご覧ください。(要事前申込)

●日時・テーマ・講師/  
①11月7日(土) 15時〜17時  
講義「思春期の性・男子の性」  
性のごく、話せませうか?  
村瀬幸浩氏(元一橋大学講師)

●日時・テーマ・講師/  
①11月7日(土) 15時〜17時  
講義「思春期の性・男子の性」  
性のごく、話せませうか?  
村瀬幸浩氏(元一橋大学講師)

### 小 梅丘失語症カフェ

#### 「世田谷区の失語症自主グループ」

世田谷区は全国でも珍しいほど多くの失語症のグループが多様な活動を行なっています。グループが生まれた経緯や活動の内容、このコロナ状況下において、悩みなから活動を継続するグループの試みをお話ししたいと思います。

●日時/11月21日(土) 13時半〜16時半

●場所/梅丘ボランティアアビュール  
●交通/梅ヶ丘駅徒歩7分  
●定員/12名(事前申し込み)  
●参加費/300円(資料代)  
●問合せ/梅丘ボランティアアビュール 担当 横井

●日時/11月21日(土) 13時半〜16時半  
●場所/梅丘ボランティアアビュール  
●交通/梅ヶ丘駅徒歩7分  
●定員/12名(事前申し込み)  
●参加費/300円(資料代)  
●問合せ/梅丘ボランティアアビュール 担当 横井

## 小 代田ビューロー近所カフェ

### 「ゆるゆる体操」参加者募集

寒くなってくるこれからの季節、家にもりがちの方もいらっしやるのではないでしょうか。ゆるく体を動かして、体も頭も元気にしませんか? 体操を教えてください。ださる方をお呼びして、椅子に座っての体操、椅子を使っての体操をします。※事前申込制。

●日時/11月21日(土) 13時〜16時  
1回目 13時半〜14時  
2回目 14時15分〜14時45分  
3回目 15時〜15時半

●場所/代田ボランティアアビュール  
1階(階段のみ)

## 東 50歳からのライフデザイン

### これから何をする? (全3回)

これからの人生を考えた時にやりたいことや、やりたかったことを、50代を分岐点に過去の自分を見つめ、未来の自分について一度考えてみませんか。楽しく5年後の未来についてプランニングしましょう。※先着 事前申込制。

●日時/12月11日・1月22日・2月19日(金) 19時半〜20時半

●場所/世田谷ボランティアセンター

●交通/世田谷代田駅すぐ  
●参加費/100円  
●定員/10名  
●条件/マスク・靴下着用  
●申込み/電話またはメールで。メールの場合、件名に「ゆるゆるの体操参加」とし、何回目に参加するか、氏名、住所、電話番号を明記して下さい。

●問合せ/代田ボランティアアビュール  
TEL 3419-4545  
daitabor@otagaisana.or.jp

●交通/三軒茶屋駅徒歩8分  
●参加費/無料  
●定員/5名  
●条件/マスク着用  
●申込み/メールの場合、件名に「ライフデザイン参加」とし、氏名、住所、電話番号を明記。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 青木・大垣内  
TEL 5712-5101  
evening50@otagaisana.or.jp

上記掲載記事は 10月22日時点の情報です。変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

## 東 ヒューマンライブラリー入門講座

ヒューマンライブラリー（HL）は、障がい者、LGBT、難病、依存症、外国人など偏見や誤解を受けやすい人が「本」になり、少人数の一般読者の方に人生活を自己開示する対話イベントです。相互理解を深め偏見を低減するイベントとして、国内各地や世界中で実践されています。この講座では、HLについて詳しく知りたい方、開催してみたい方などを対象にした入門講座です。

●日時／11月22日（日）14時～16時

## 東 大人の発達障がいのある方とかわるボランティア養成講座（全3回）

発達障がいのある方が、家にいながら交流ができる「オンラインカフェ」の企画・運営にかかわるボランティアをめざす講座です。講座では、発達障がいのある方を学び、考えるほか、オンライン初心者でも活動ができるように、オンラインについても丁寧に教えします！

●日時／①11月20日、②11月27日

③12月4日（金）13時半～15時半

●場所／①は玉川ボランティアセンター、②③はWEB会議ツール「Zoom」を使用して実施

●場所／世田谷ボランティアセンター

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●参加費／500円（資料代）

●募集人数／3人まで

●申込み／氏名、お仕事、住所、連絡先を明記してメールでお申し込みください。（事前申込制）

●問合せ／東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井

090・4751・6942

tsubo912@gmail.com

http://tokyo-humanlibrary.com

●交通／二子玉川駅徒歩5分

●参加費／500円（資料代）

●定員／12人（10月15日受付開始）

11月6日×2回

●申込み／電話、FAX、メールでお申し込みください。（件名を『発達講座申込み』とし、

①氏名②住所③連絡先④年齢（年代）⑤何を見てを明記

●問合せ／玉川ボランティアセンター

TEL 3707・3528

FAX 3708・3058

tanabora@otagaisama.or.jp

TEL 3707・3528

FAX 3708・3058

## 『災害ボランティアコーディネーター養成講座』オンラインで公開中

※画像はイメージにつき変更になる場合があります。

ついに「災害ボランティアコーディネーター養成講座『基礎編』」がオンラインで受講できるようになりました！  
YouTubeの「せたがや災害ボランティアセンター公式チャンネル」で検索して下さい。

「基礎編」以外の講座も今後アップしていきますので、ぜひチャンネル登録してくださいね！



災害から日常生活を取り戻すための大きな力となります

せたがや災害ボランティアセンター

🔍 検索

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

### ●いのちを大切にするとこ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

11/20から「大人の発達障がいのある方とかかわるボランティア養成講座」がスタート。2回目と3回目はオンラインでやります。オンラインだから参加しやすいという方もいて、新しい出会いに期待しています。

### ◆ふらっと& withより

ずっと続くウイルスとの闘い。ほんの少しの時間、広い公園に出かけました。すっかり秋も深まっていたことに気づきます。この秋、ふらっと& withは正規職員を募集しています。詳細は事務局にご連絡を。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

### ◆チャイルドラインより

オンライン公開講座は単発でもご参加いただけます。11/7「思春期の性・男子の性」、11/21「いじめと不登校～経験者の立場から」(10ページ参照)。子育て中の方も参加しやすい、オンラインで開催中。ぜひご参加ください!

### 編集後記

- アンケートにご回答いただいた団体のみならず、ご協力ありがとうございました。活動するうえで悩んだ時にはいつでもご相談ください。
- 夏のマスク着用もつらかったですが、これからの季節の換気は必要とはいえ厳しいものがありますね。タイマー換気が新たな習慣に。(み)
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座のオンライン動画の編集を担当しました。多くの人が受講してコーディネーター登録をして下さるとうれしいです。(こ)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
横山 康博

